

バンコクにおける都市化と その特徴

都市地理グループ
滋賀県立大学環境科学部
香川雄一

都市地理グループのバンコク調査

- 2006年8月6-10日：加藤, 谷口_智, 山下, 香川
- 現地見学と資料収集



都市地理学と地下環境への影響

- 水文環境と都市 河川、運河とその変容
- 人間活動の増加 人口分布とその変化
- 人間の生産活動 工場の立地と拡大
- 環境への悪影響 汚染物質の排出と蓄積

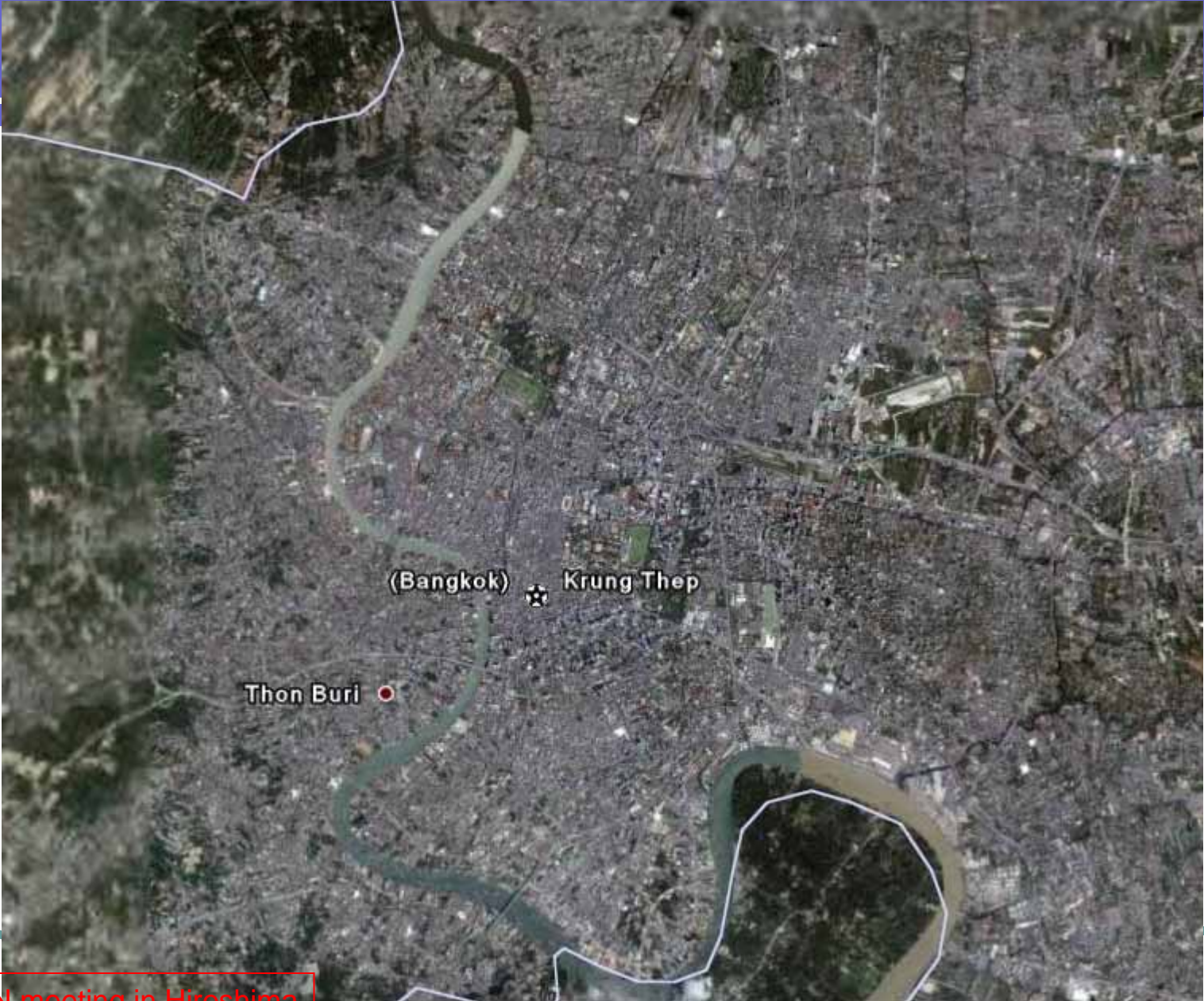
バンコクにおける都市化

- 同心円的形態：放射状に拡大
- 分散的都市化：幹線沿いに帯状開発

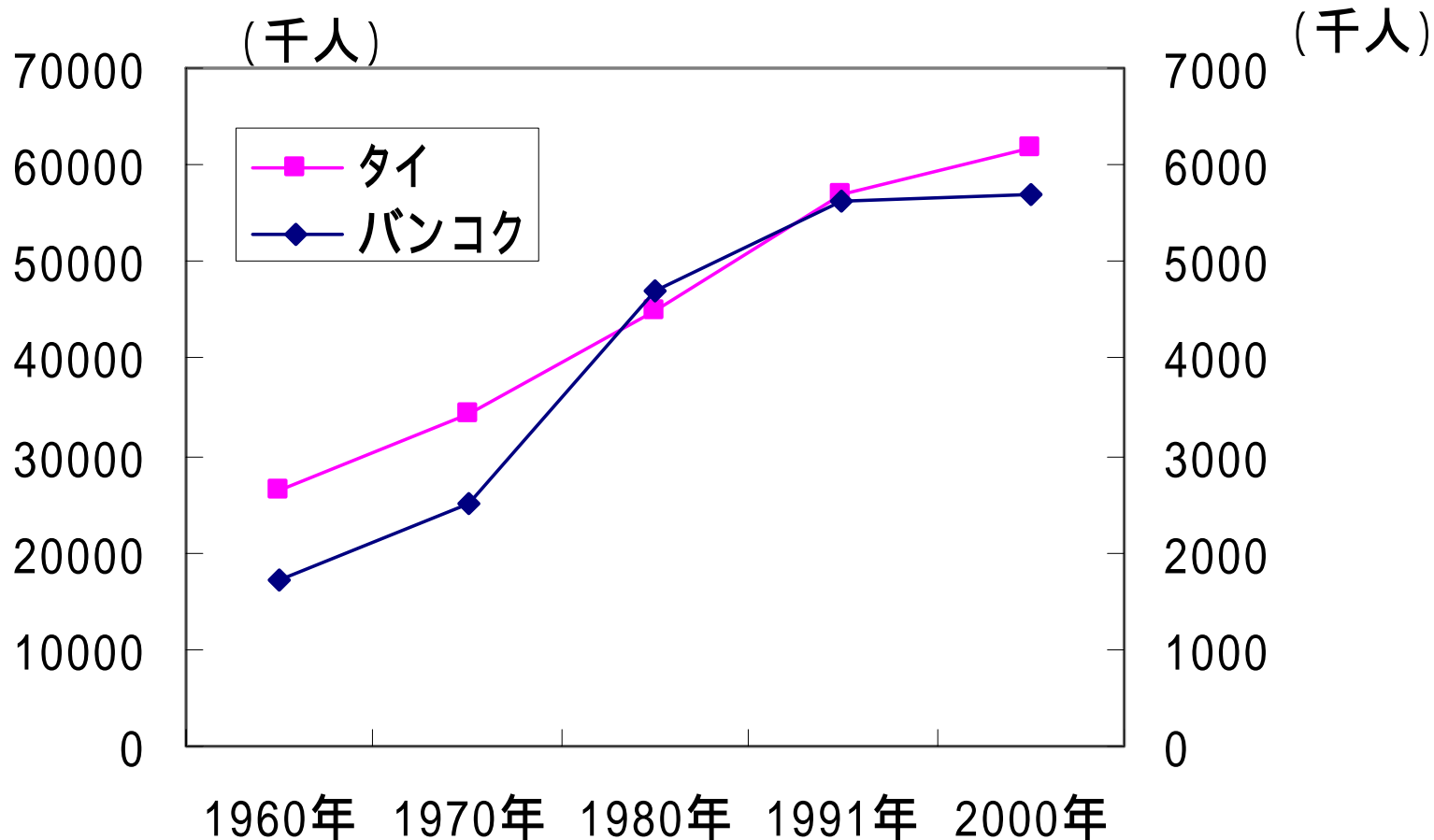


ト・シ
周縁





H18 RIHN meeting in Hiroshima



タイとバンコクの人口変化

出典: Population & Housing Census,

Statistical Profile of Bangkok metropolitan administration

バンコクにおける工業化

- バンコク南部の工業団地(輸出加工区)



バンコクにおける都市域の拡大

- 1782: トンブリー (1767 ~) より遷都
- 運河とチャオプラヤ川で川中島となる湿地
- 既存の運河の外側に運河を建設し拡張
- 道路による外延部への拡大 (交通の変化)

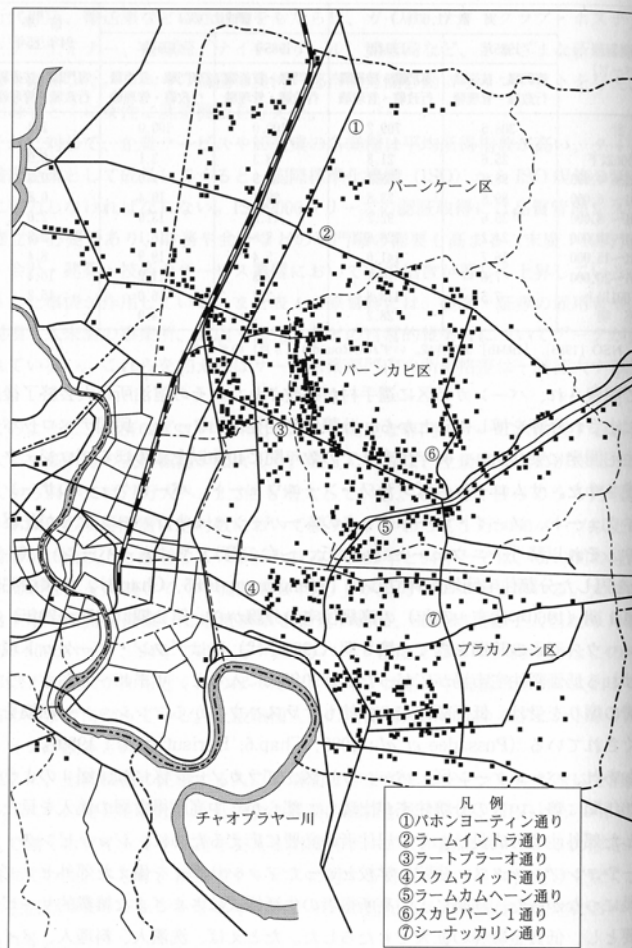
図1-1 ラーマ1世期のバンコク



- ① トンブリー王宮
- ② 貴族邸宅・監獄
- ③ ラーマ1世旧宅
- ④ 王宮前広場
- ⑤ 裁判所・貴族の寺院
- ⑥ 貴族邸宅
- ⑦ 大臣邸宅
- ⑧ バンコク庁・監獄
- ⑨ マレー人集落
- ⑩ 役人・一般住宅地
- ⑪ モーン人集落
- ⑫ ベトナム人集落
- ⑬ 中国人集落
- ++++バンコク城壁
- トンブリー城壁跡。すべて撤去。
- 城 砦

友杉(1998)より

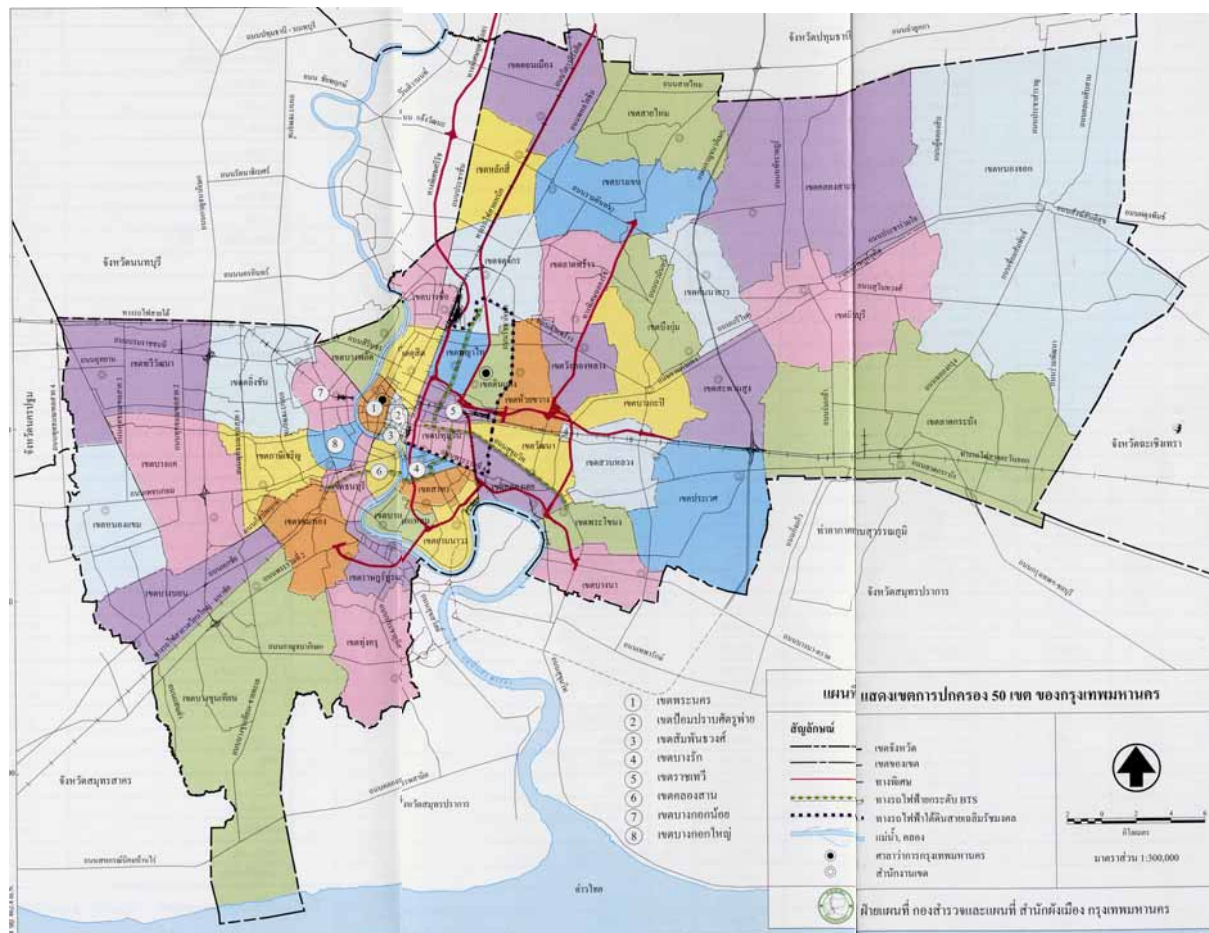
図4 郊外分譲住宅団地の分布(1980年代半ば)



(出所) Wongduan [1985, p.128].
(注) ■印が住宅団地を示す。

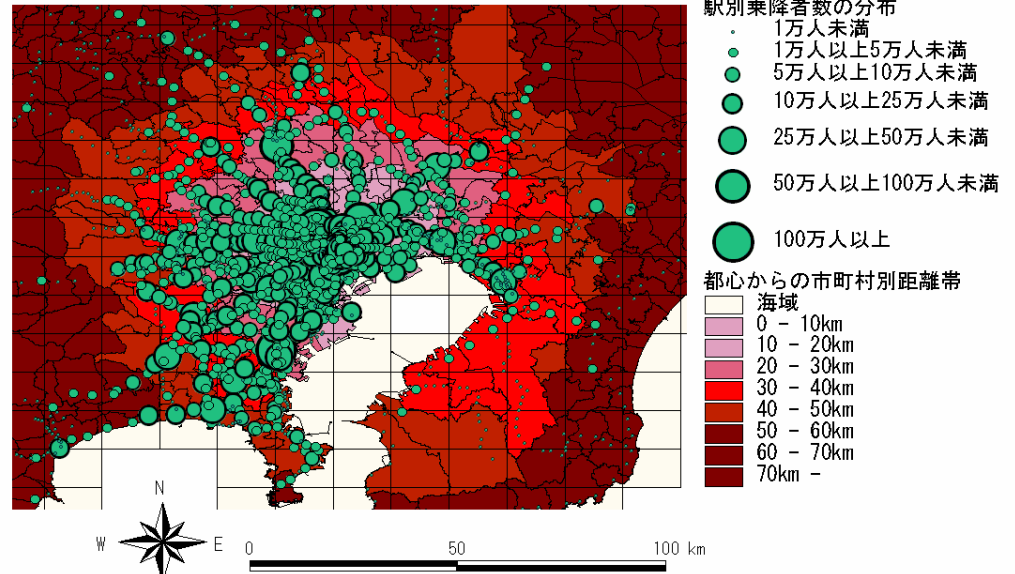
田坂(1998)より

バンコクにおける都市構造

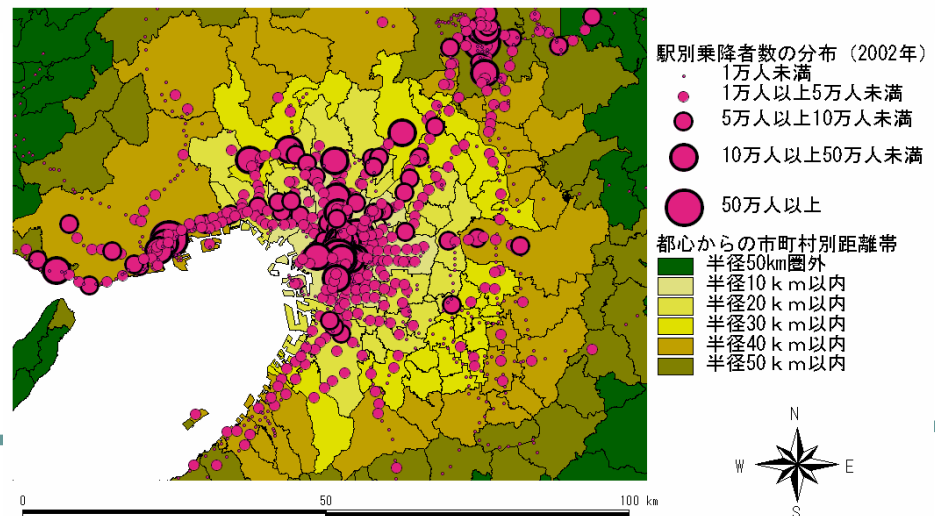


大都市圏の都市構造(交通流動)

東京大都市圏



京阪神大都市圏

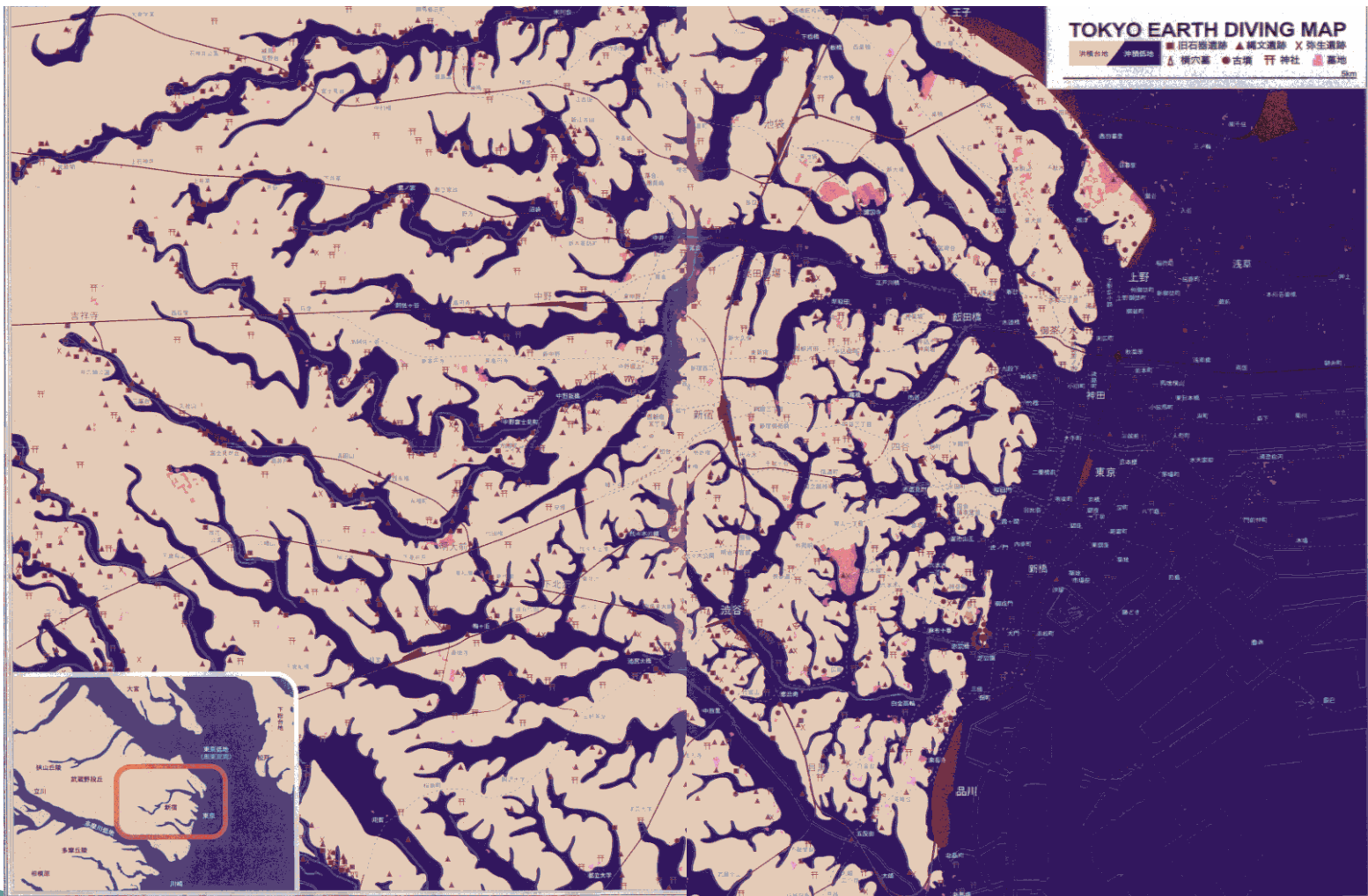


地下環境プロジェクトの調査から

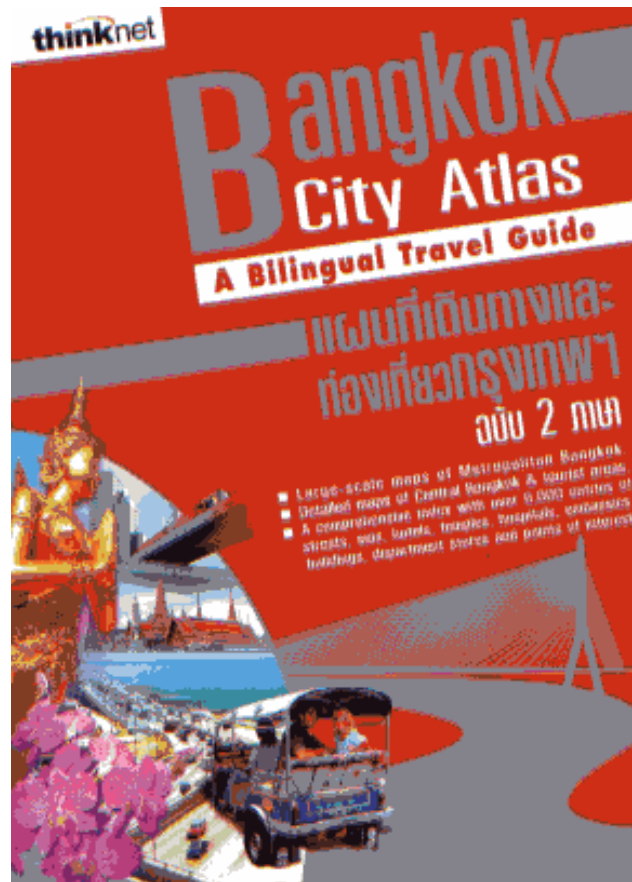
- 寺院の立地と運河へ流入する水質の関係
- 寺院の分布と立地プロセス



水路網と寺院の立地(中沢, 2005)



バンコク都における寺院の分布



Metropolitan Bangkok / มหานคร



H18 RIHN meeting in Hiroshima

Wat =

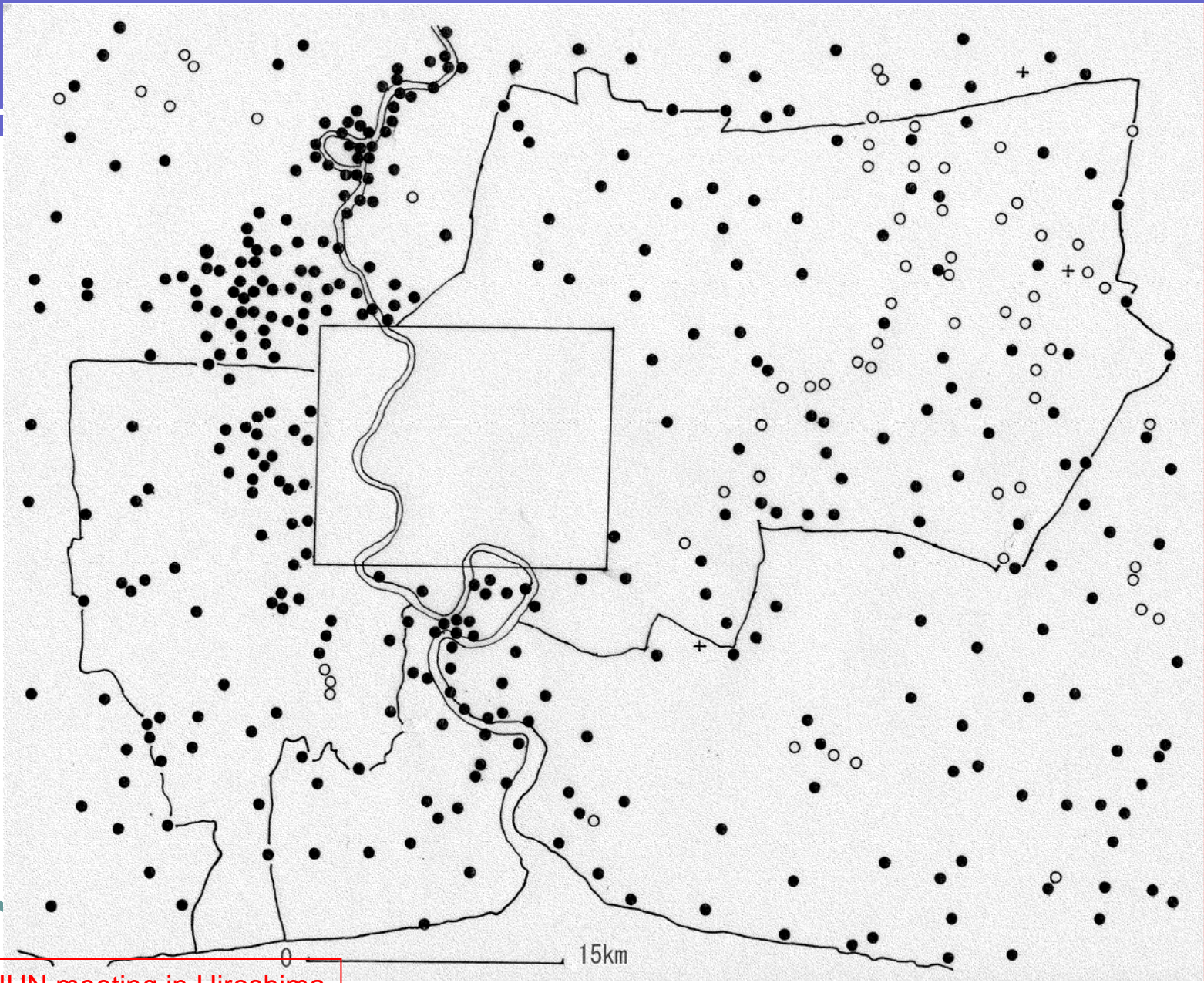
7	7	34	7	7	7	7	7	5	
7	41	64	4	8	5	6	6		
9	24	136	28	7	9	7	9		
8	11	15	19	3	4	6	7		
6	3	7	7	5	5	7	10	574	

Mosque =

3	3	1	0	0	5	8	1		
0	0	3	1	0	7	7	8		
0	0	12	15	2	2	3	4		
0	0	3	0	0	3	0	2		
0	0	0	1	0	0	0	1	95	

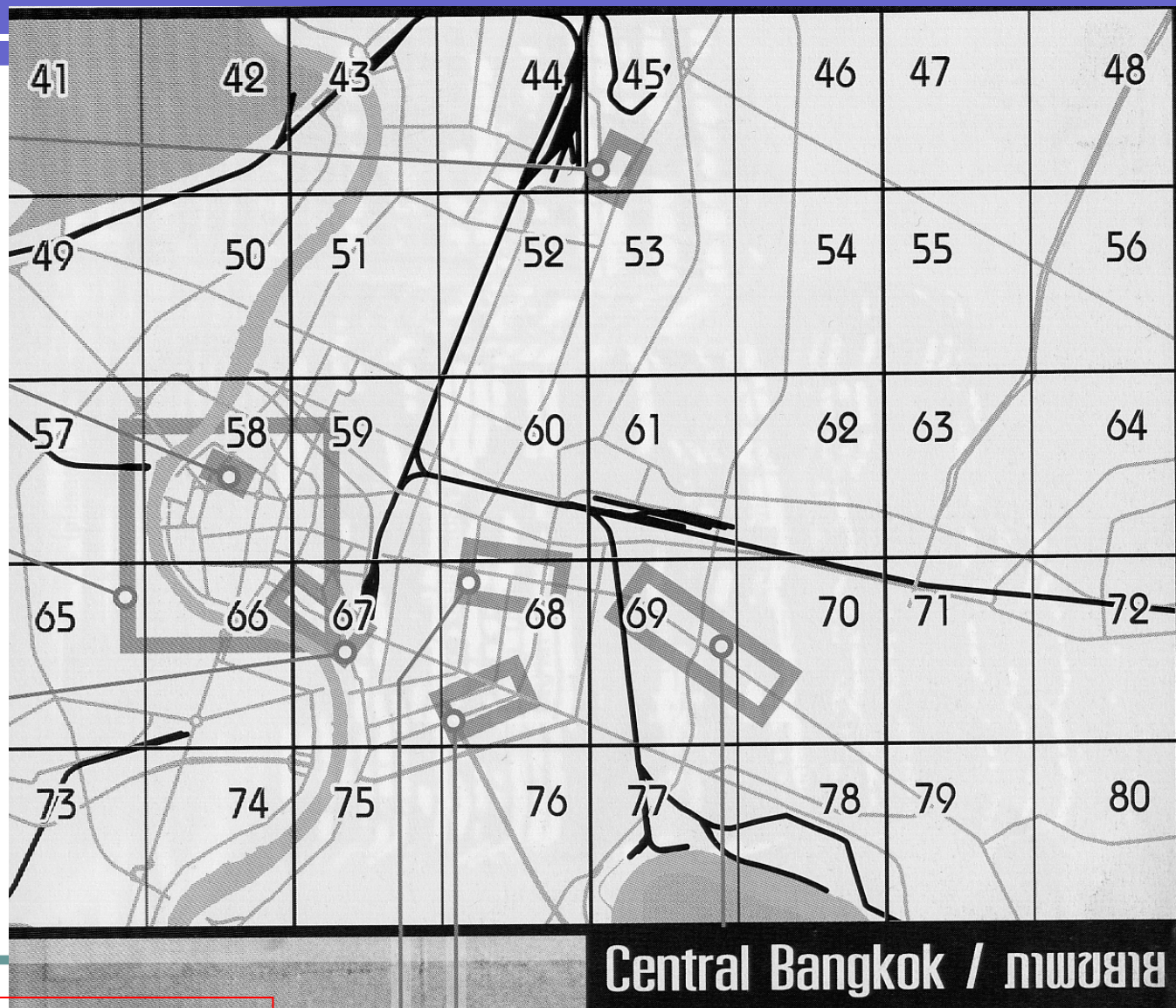
Church = +

0	0	0	0	0	0	1	0		
0	0	1	2	0	0	0	1		
0	0	7	8	0	0	0	0		
0	0	0	0	1	0	0	0		
0	0	0	0	0	0	0	0	21	



H18 RIHN meeting in Hiroshima

バンコク都心部における寺院の分布



Wat =

12	10	7	2	0	0	1	0	
10	13	5	0	1	0	1	0	
21	24	10	1	1	1	3	2	
12	19	17	1	0	1	1	1	
9	6	5	1	3	1	3	4	209

Mosque =

0	1	0	0	0	0	0	0	
0	0	2	0	0	0	1	2	
1	1	1	0	0	1	1	0	
2	5	2	0	1	3	2	4	
0	0	0	0	0	0	1	0	31

Church = +

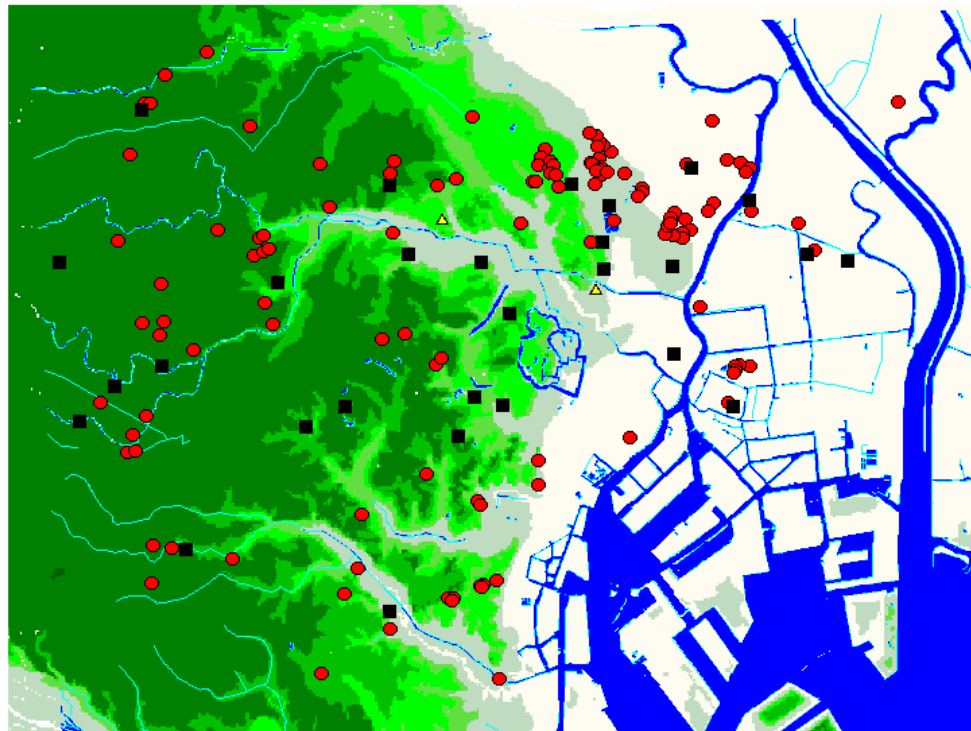
0	0	0	0	0	1	0	0	
0	2	0	0	0	1	0	0	
0	0	0	1	0	0	0	1	
0	1	0	0	4	0	0	1	
0	1	3	0	1	0	1	0	18



H18 RIHN meeting in Hiroshima

東京における寺院の分布

東京の都心部における宗教施設の分布と標高



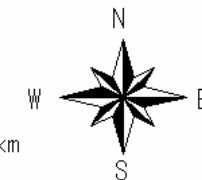
宗教施設の分布

- 寺院
- 神社
- ▲ 教会・天主堂

- 水面
- 水涯線

標高

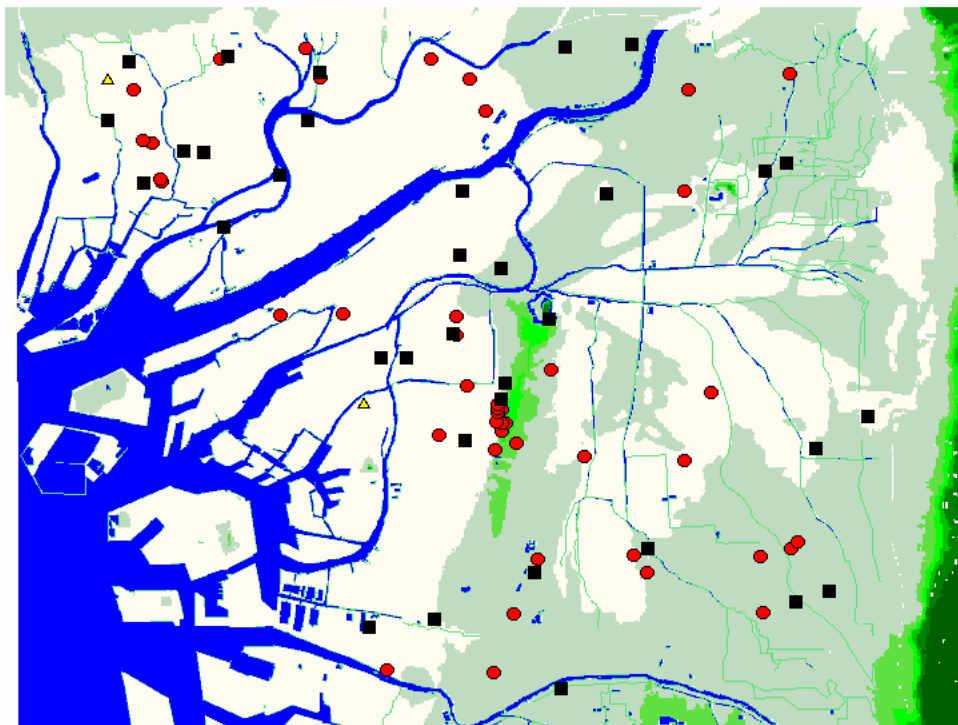
- ~5m
- ~10m
- ~15m
- ~20m
- ~25m
- ~30m
- ~40m
- ~50m
- 50m~
- No Data



0 10 20 km

大阪における寺院の分布

大阪の中心部における宗教施設の分布と標高



宗教施設の分布

- 寺院
- 神社
- ▲ 教会・天主堂

■ 水面
▲ 水涯線

標高

- ~5m
- ~10m
- ~15m
- ~20m
- ~25m
- ~30m
- ~40m
- ~50m
- 50m~
- No Data



本発表のまとめ

- バンコクにおける都市化の特徴
- 都心部への注目（主要施設と水路の関係）
- 人間活動と地下環境の接点としての寺院
- 他都市との比較検討の可能性

今後の課題 (都市地理班として)

- 都市構造の歴史的変化を復元
- 水文環境の地図化
- 都市域の確定 調査ポイントとの関係
- 他班との議論の接点を模索